

- ▶ 東大和市では、市内の公園の老朽化対策として、国産材を活用した木製遊具などの公園施設への更新に取り組んでいる。
- ▶ 令和6年度は市立公園の桜が丘一丁目公園の改修工事に併せて、児童用木製遊具1基、木製スツール2基を設置した。

□ 事業内容

1 桜が丘一丁目公園改修工事

- ・市立公園の桜が丘一丁目公園に国産産の木材を使用した、児童用木製遊具1基、木製スツール2基を設置した。

【事業費】46,515,920千円（うち譲与税9,417千円）

【実績】木材使用量 1.689m³

□ 取組の背景

- ・市内には、100箇所以上の公園があり、その大半が整備からの相当年数経過しており、施設の老朽化及び更新が課題となっている。
- ・平成29年度から、公園施設の安全点検が法令化されており、基準に基づき遊具等の更新をしなければならない状況化である。



(1：東大和市内公園配置図)

□ 工夫・留意した点

- ・桜が丘一丁目公園改修工事は、既存複合遊具が老朽化により更新が必要となり、スペースに限りがあったため設置に工夫が必要だった。
- ・木製スツールは、遊具との位置関係など、利用者の利便性に配慮する必要があった。

□ 取組の効果

- ・既存の複合遊具を更新することができただけでなく、木製の遊具を使用することによって、他の公園との差別化を図ることができた。魅力ある公園を提供すると共に、地域の活性化にも大きく貢献した。



(2：児童用木製複合遊具)



(3：木製スツール)

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：9,417千円	②私有林人工林面積（※1）：2ha	
③林野率（※1）：15.1%	④人口（※2）：83,901人	⑤林業就業者数（※2）：2人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より